

湖のシマ模様、出土品、漁具、
研究者の調べるもの…
湖のネタが大集合！

特別展

湖

みづうみ

ねんこう なりわい
湖底の年縞・湖畔の生業

湖底に眠る年縞堆積物、湖畔の埋蔵文化財、現代に遺る多様な漁具と民具。湖にまつわるこれらの資料は、過去の地球環境とそこで暮らした人間の歴史の証言者です。年縞博物館の開館から5年、縄文博物館の開館から24年を迎えた今でも、発掘と調査研究により新たな知見が続々と蓄積されています。本展では「湖」をキーワードに、最新の年縞研究と考古調査から見てきた古環境と人々の歴史を紹介します。

2023.8.2 wed. – 10.2 mon.

福井県年縞博物館 若狭三方縄文博物館

年縞編「最新の研究からわかってきた地球環境」 歴史編「縄文から現代までのレイクフードを捕る技術」

主催 福井県年縞博物館・若狭三方縄文博物館
共催 立命館大学古気候学研究中心
協力 岡山理科大学・オックスフォード大学・グラスゴー大学・神戸大学・東京大学
後援 福井県教育委員会

開館時間 9:00～17:00(最終入館は16:30まで) 火曜休館(両館共通) 臨時休館あり ※詳細は各館のホームページ参照

入館料 各館 一般500円/小中高生200円(常設展含む) 両館共通観覧券:一般700円/小中高生280円
※未就学児無料(両館共通) ※70歳以上は年縞博物館が無料 ※若狭町民は縄文博物館が無料

アクセス 〒919-1331 福井県三方上中郡若狭町鳥浜122-12-1縄文ロマンパーク内
JR小浜線「三方駅」より徒歩25分、レンタサイクルで10分
舞鶴若狭自動車道「若狭三方IC」「三方五湖スマートIC」から約5分

お問合せ TEL0770-45-0456(福井県年縞博物館) TEL0770-45-2270(若狭三方縄文博物館)



みづうみ

年縞編

最新の研究からわかってきた地球環境

福井県年縞博物館

気候変動、火山噴火、植生、地球磁場、年代…水月湖の年縞からは過去の地球の姿が多角的に解析されています。

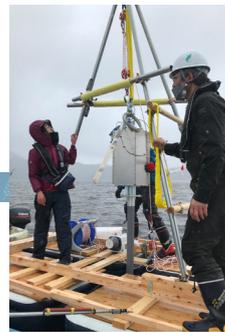
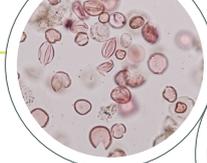
年縞編では、手に取ってさわることができる年縞(実物標本)や初の試み「湖底VR映像」等とともに、水月湖年縞の最新の研究成果を紹介します。

主な展示品

- さわれる年縞
- 水月湖底VR映像
- 年縞の分析に用いた実験試料など

初公開

初公開



みづうみ

歴史編

縄文から現代までのレイクフードを捕る技術

若狭三方縄文博物館

考古資料や古民具(漁具など)をとおして、縄文時代から古代(奈良・平安時代)、現代までの湖と人にまつわる資料を紹介します。

主な展示品

- 湖畔の縄文遺跡から出土した土器
(縄文時代前期から晩期)
- ユリ2号丸木舟
(縄文時代晩期 スギ製)
- 田名遺跡出土管状土錘
(古墳時代から奈良時代)
- はえ縄
(三方湖にて鳥浜漁業協同組合の漁師さんが使用)
- ウナギ筒
(同)



特別展

湖

みづうみ

記念講演会

レイク・スイゲツ： 年縞研究のフロンティア

【日時】2023年9月16日(土) (13:30開場) 14:00-16:30

【会場】リブラ若狭(福井県若狭町中央1-2)

・JR小浜線「三方駅」から徒歩15分 ・無料駐車場有

【定員】先着200名(事前申し込み制)

【申込】お電話もしくはQRコードから

【電話】0770-45-0456(年縞博物館)



中川 毅氏 (立命館大学古気候学研究センター長)

「水月湖研究の30年：世界のレイク・スイゲツはどこから来て、どこへ向かうのか」

ヴィクトリア・スミス氏 (英オックスフォード大学考古学教室教授)

「年縞のなかの火山灰：日本の大規模噴火の驚くべき記録」

レイチェル・ウッド氏 (英オックスフォード大学放射性炭素加速器ユニット所長)

「放射性炭素年代測定が語る過去5万年の人類、環境、宇宙」